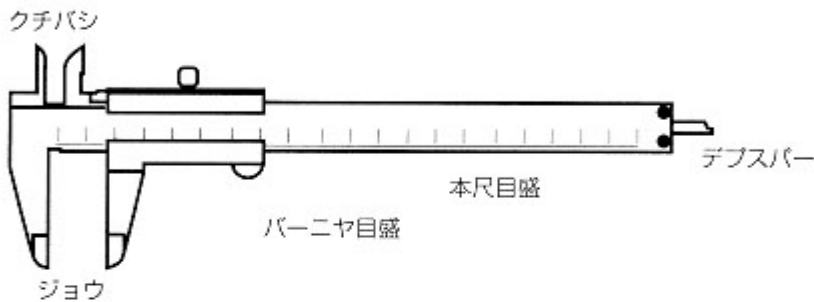


ノギスの使い方・目盛りの読み方

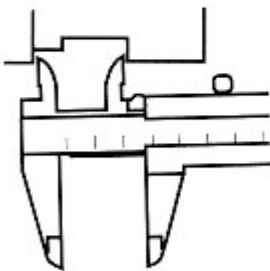
ノギスの使い方

ノギスは定規とパス（幅を測る道具）を一体にしたもので、工場や機械加工現場などで広く使われている測定器のひとつです。

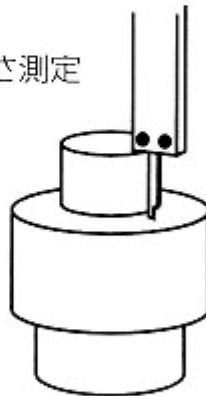
※1/20mmまでの精度で物を測定することができます。
（1/100まで測定することができるデジタル式もあります。）



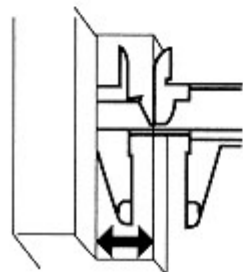
●内側測定



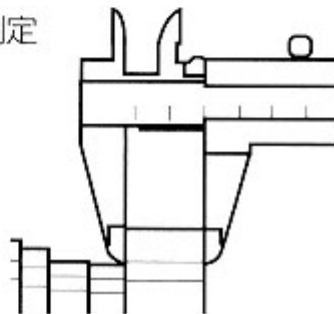
●深さ測定



●段差測定

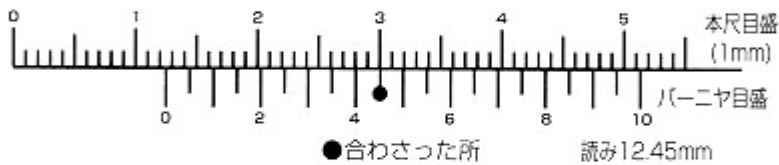


●外側測定

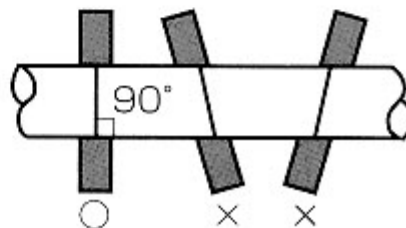


●目盛りの読み方

- ①まず、バーニヤ目盛の0の所の本尺目盛を読みます。この図の場合12mmと13mmの間にありますので12mmと読みます。
- ②次にバーニヤ目盛と本尺目盛の合わさった所のバーニヤ目盛を読みます。バーニヤ目盛は1目盛が0.05mmなので、図では0.45mmです。
- ③最後に本尺目盛の数字とバーニヤ目盛の数字を足します。下図の場合は $12\text{mm} + 0.45\text{mm} = 12.45\text{mm}$ となります。



- ノギスのクチバシやジョウは測定物に直角にあてることが大切です。
- ノギスは精密測定器です。落としたり、ぶつけたりしないように大切に扱ってください。



東急ハンス発行の解説書より